

教えて!ドクター

北川先生

Q&A



病理診断科医長

北川 諭

病理検査について

Q 病理検査はどんな検査？

病理検査とは、患者さんから手術や内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラなど）等で、採取・摘出された臓器や痰、尿などの中の細胞を調べ、病気の診断や原因を究明するために行う検査です。細胞を調べるためには、顕微鏡で観察するためのスライドガラス標本をつくる必要があります。

スライドガラス標本を作製する仕事は、臨床検査技師が担当し、その標本を観察し病気を診断する仕事は病理診断科の医師（病理医）が行います。病理検査は、大きく分けて、組織検査、細胞診検査、病理解剖の3分野に分かれます。

Q 組織検査とは？

手術や内視鏡検査（胃カメラなど）などで採取された検体の病変を調べます。検体の大きさは、数ミリのものから10cm以上のものがありますが、これらから、スライドガラス標本を作製し、病理医が顕微鏡で観察して診断します。病気の種類、広がりや程度や、良性・悪性の診断など、治療方針の決定にかかわる判定を行います。「がん」の診断・治療には、病理診断が欠かせないものとなっています。

検体の種類や内容にもよりますが、診断を行うまでに、小さな検体であれば数日～1週間程度、大きな検体であれば、2週間程度の時間がかかります。診断の難しいケースでは、大学病院の専門家に相談したりすることもあり、それ以上に時間を必要とする場合もまれにあります。その場合には、主治医に暫定的な結果を伝えて、患者さんの診療の遅れにつながらないように配慮しています。

Q 細胞診検査とは？

病変部分を綿棒でこすることにより剥がれた細胞や、喀痰や尿などに含まれる細胞、病変を細い針で刺して採取した細胞を、スライドガラスに塗り付けることによって標本を作製します。このスライドガラスを、臨床検査技師と病理医が顕微鏡で観察し、診断します。

子宮がん検診や肺がん検診などでは、細胞診検査が行われています。

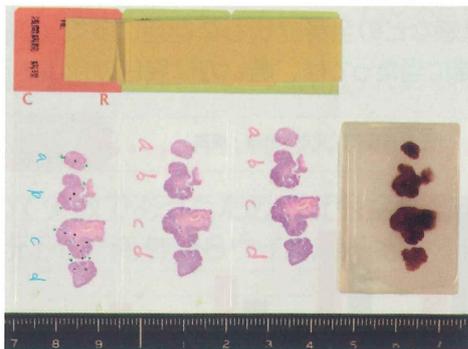
Q 病理解剖とは？

不幸にも病気で亡くなられた患者さんに関して、ご遺族の承諾を頂き、病気の原因究明や治療効果の判断を目的とした病理解剖を行っています。生前の検査などでは、分からなかった病気の詳細を知ることができます。

将来の病気の原因究明や治療の進歩に役立てていきます。

Q 浅間総合病院の病理検査の状況は？

昨年度までは、他施設（大学病院など）に所属する非常勤医師によって、病理診断が行われていましたが、本年度から、病理診断科の医師が赴任しました。当院を受診される患者さんの診断・治療のために、これまで以上にきめ細かく対応いたします。



大腸ポリープのガラススライド標本

